

(15) 2024年(令和6年)6月3日

DOC Japan

多機能ポリマー「ドックスター」に
毛髪の褪色を抑制する新データを取得



大川社長

一ムケア用途の天然系ポリマーを開発・提供するDOC Japanではこのほど、ジャガイモデンプン由来の水溶性ポリマーを丸子オノ化した機能性ポリマーの「DOC ST ARCH CPP Plus」(以下、ドックスター)に、ヘアカラーチーの褪色を抑制する新たなデータを取得した。主にヘアケア用途での提案を強化しているドックスターはこれ

まで泡質の改善や毛髪のマニン流出を防ぐことにより、空気化による毛髪のダメージ進行を防ぐ効果も確認されている。

ラニンの流出を抑制する機能から着想を得て、我々はドックコートが毛髪表面に形成する皮膜に特徴があることを考へた。メラニンの滲出抑制と同様にヘアカラーラーの褪色防止へのニーズも高いことから、それに付随して褪色を防ぐ効果を検証したところ、最も色落ちしやすいアッシュ系のカラーアイ剤を用いた第一段階の試験で褪色抑制の傾向がみられた」と話す。次のステップとなる

異なる色のカラー剤や同社が展開する他の天然系ポリマーとの併用によるブースト効果などの検討を進めていく。

「褪色防止は日本だけでなく、海外でもニーズが高い。海外では特に環境負荷の低減で多機能な原料が注目されれており、『マルチファンクションアルボリマー』として提案を強化していくことで、受注の拡大へとつなげていきたい」(大川社長)

リートメント成分のノリを良くしてシャンプー後に使用するコンディショナーの効果を高める「DOCQUAT（ドックコート）10」と、傷んだ髪の疎水性を回復して毛髪をケアするほか、頭皮に潤いを与えて健康な地肌に導く「DOCSILFIEee（ドックシリフイフィー）」の受注も好調だ。

「気候変動により、世界各地で水不足が深刻化している。今後は日本でも節水を訴求したヘアケア製品の増加が想定され、トレンドを見据えた原料開発に努めていく」（大川氏）